

第3期宮前区区民会議 第1回（仮称）地産地消部会

～ 宮前区らしさをコミュニティづくりに活かそう ～

日時：平成22年8月31日(水)18:00～20:00

場所：宮前区役所 保健所1階集団教育ホール

次 第

- 1 専門部会の流れ、今後のスケジュール
- 2 「宮前区らしさ・地域特性を活かしたコミュニティづくり」とは
- 3 その他

【配布資料】

資料1 任期2年間の流れ

資料2 審議テーマの絞込み過程（振り返り）

資料3 「宮前区らしさ・地域特性を活かしたコミュニティづくり」イメージ

資料4 プレ部会摘録（案）

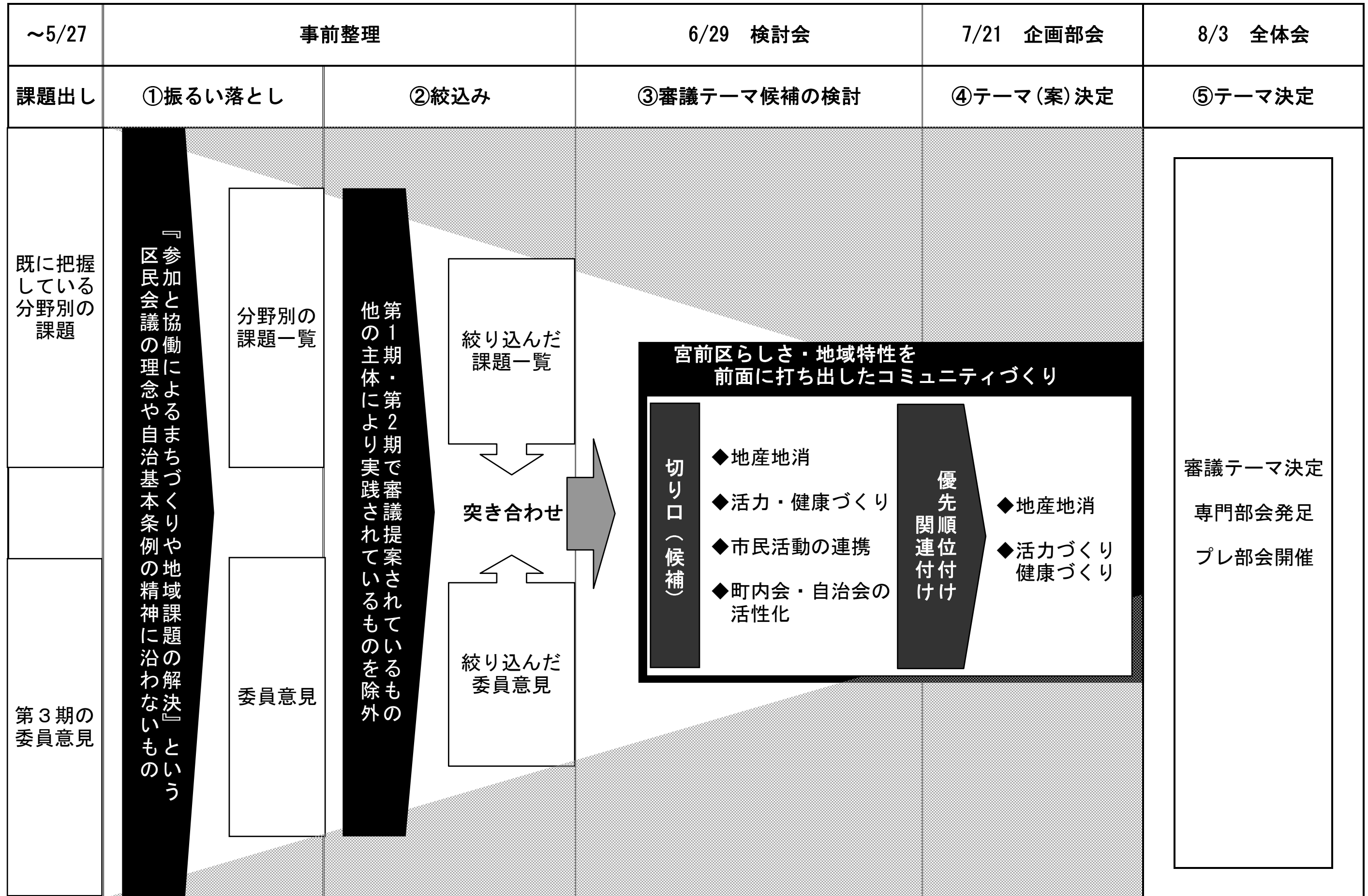
参 考 川崎市・宮前区に関する資料一式

- ・川崎日和り
- ・かわさきいいな
- ・みやまえガイドマップ
- ・宮前区ガイドブック
- ・宮前歴史ガイド
- ・宮前区市民活動応援マップ
- ・宮前の風（宮前区観光協会広報誌）
- ・宮前区公園体操マップ
- ・かわさきそだち 農産物共同直売所マップ

任期2年間の流れ

	平成22年度											平成23年度																					
	課題出しと審議テーマ選び				現状の洗い出しや先進事例等のリサーチ							アイデア出しと具体的解決策の検討				プランづくり				第3期まとめ													
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月										
進行目安	事前打ち合わせ 第1回全体会 ・委員の興味関心 ・課題出し ・審議テーマ選び 27日				第2回全体会 【専門部会発足】 ・各テーマについての現状調査 ・目指すべき姿や理想像の確認 3日							第3回全体会 ・解決すべき課題の洗い出し 11日				第4回全体会 ・先進事例のリサーチ等 10・14日				第5回全体会 6月				第6回全体会 9月 専門部会 議論まとめ 10月 専門部会 提案内容まとめ				第7回全体会 11月 区長への提案			第8回全体会 2月		
企画部会		①	②			③			④		⑤		⑥		⑦		⑧	⑨		⑩		⑪											
地産地消部会					①	②		③	④		⑤	フォーラム・中間報告	⑥		⑦	⑧		⑨	⑩				フォーラム・総括報告										
活力づくり部会					①	②		③	④		⑤		⑥		⑦	⑧		⑨	⑩														

審議テーマ絞込みの過程（振り返り）



「宮前区らしさ・地域特性を活かしたコミュニティづくり」イメージ

現状のコミュニティ

- ◆何十年もかけて築き上げられた消費型社会
- ◆「川崎都民」型生活スタイルによる地域への無関心
- ◆地域社会に参加する必要性を感じていない
「サイレントマジョリティ」の存在
(地縁・血縁社会でないので、地域とつながらなくても生活に困らない)
- ◆地域活動をする人とならない人の二極化・意識のギャップ
- ◆担い手の固定化・高齢化
- ◆
- ◆

近づけていく!!

「サイレントマジョリティ」の興味を引くためには…

「大事だから」「問題だから」というアプローチよりも、
「楽しそう」「面白そう」「好奇心が湧く」「共感できる」といった
ポジティブな気持ちを起こす仕掛けづくりをしていくことが効果的

↳ **宮前区らしさ・地域特性を前面に打ち出す**

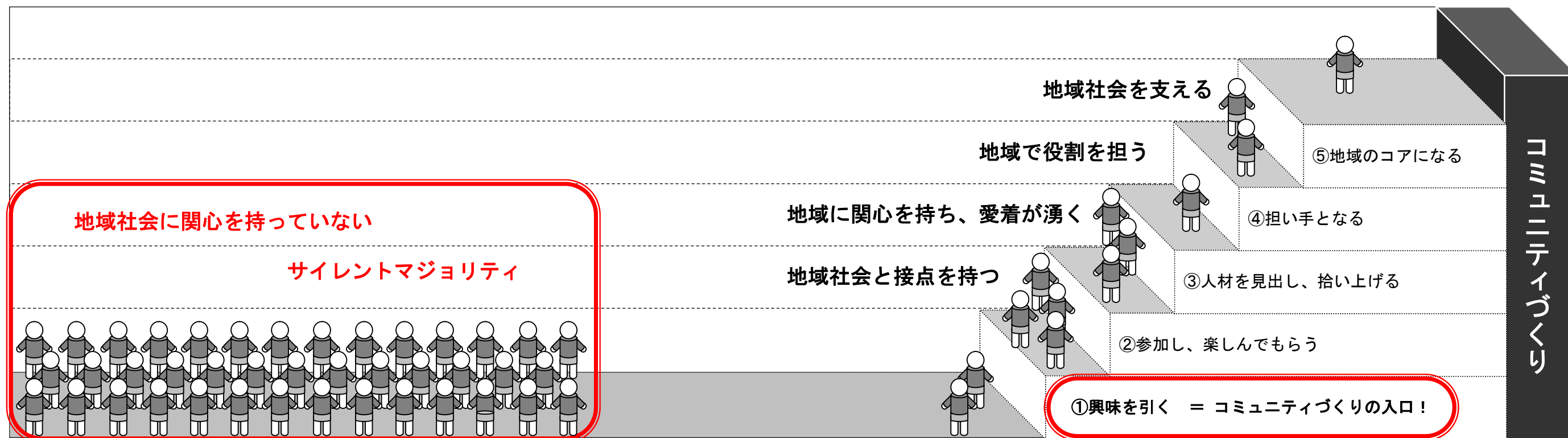
- 地産地消 ……美味しい
- (ex. 農産物) ……嬉しい (身近な魅力の再発見)
- ……楽しい (フルーツ狩り)



目指すべきコミュニティ

- ◆近所で顔の見える関係
- ◆あいさつが交し合える良好なコミュニケーション
- ◆「お互いさま」という支えあいの精神
- ◆地元への愛着
- ◆地域の行事やイベントなどに、自然と参加する雰囲気
- ◆活発な世代間交流
- ◆
- ◆

「コミュニティづくり」とは … 現状のコミュニティの課題を少しずつ解決し、理想とすべき、目指すべき姿に近づけていくプロセス



第3期宮前区区民会議 第2回会議 (仮称)地産地消プレ部会 摘録(案)

□日 時 平成22年8月3日(火) 18:25~19:10

□会 場 宮前区役所 4階大会議室

□参加者 委員 恒川副委員長、
河井委員、久保委員、種村委員、平井委員、持田委員、吉田委員
事務局 豊田担当係長
佐谷(コンサルタント)

1 意見交換

※意見交換の進め方について事務局が説明

恒川 部会でどういうことをやっていきたいかを一言ずつ言ってもらいたい。

河井 グリーンフォーラム21からの推薦。グリーンフォーラム21ではこれまでマップづくり等をやっていたが、どう運動したら緑や農地が守れるかが難しかった。このため区民会議で検討し、予算をつけて実現していきたい。

久保 宮前区らしさとして、人が住むところと緑の共存があり、緑を残していきたい。小泉委員はイベントをやる中で皆に農業を理解してもらい農地を残していきたいと言っていたが、それをもう少し考えたい。地産地消ももっとできることがあると思う。

種村 街路樹に名札をつけることで、散歩する人や子どもたちに名前を覚えてもらいたい。「みどりのまち宮前」を進めていきたい。道路清掃をやっているが、植え込みが枯れている。それを近くの人が水遣りできるようなことができないか。

持田 宮前区の人やものを広くPRしたい。子どもたちを連れていく時は横浜や鎌倉など他の地域に行ってしまう。宮前区の中でもいいものがあるので、そこに行けるようにしたい。

中村 家庭菜園をやっていた。自分たちの食べるものは自分たちでつくっていきたい。農家の規格品外の活用も考えたい。

平井 緑を保全したい。公園に関わっている人がいろいろいて、考え方が統一できてない。区民会議で何とかできないか。また、マンション開発で緑化率を高くしたい。それを区長に提案したい。

吉田 企画会議を欠席したので、残りの2の方がよかったが、それはなくなったので2つのうちからこちらを選んだ。

恒川 「緑の保全」は区民会議で提案しただけではできないので、町会や市民団体と連携していくことが必要になってくる。

持田 法律に関わることは区民会議では無理と聞いたが、どこまでできるのか?

豊田 区民会議の役割は自分たちでできることをやること。条例を提案するのは与えられた役割とは違う。

久保 小泉委員は農家を維持するには農業関係の車を置くところも必要というのをわかってほしいという話をしていた。それについての法律・条例はどうなっているのか?

種村 固定資産税の関係で農地を簡単に変えることはできない。

恒川 区民会議で個人の権利に関わることに取り組むのは難しい。

持田 しかし、緑を保全するには、そのことは関わる。どういうことができるか考えるた

第3期宮前区区民会議 第2回会議 (仮称)地産地消プレ部会 摘録(案)

めにも勉強は必要。

河井 知識として知りたい。地産地消が商売としてどう成り立っているか知りたい。

恒川 宮前区には専業農家がない。農家の実態を区民に知ってもらうことが区民会議の役割ではないか。個人の土地を売る、売らないというのは区民会議に馴染まない。

河井 売らないですむためには区民がどうすればいいか、というのを議論したい。

持田 農家は資産管理として農業をやっている。景気がよかった時期は農地を行政が公園として買い取ることもあったようだが、そういうことができないか。

種村 公園をつくった場合も維持管理にお金がかかる。

平井 情報を集めたい。地域によって違うこともいろいろある。リサーチしてわかった上でやっていきたい。

恒川 みなさんは宮前区全体の代表として、22万人区民を代表してやっていることを常に意識してほしい。合法的な中でどう緑を保全していくかを考えたほうがいいと思う。

久保 区民会議の提案はインパクトがある。3期で「緑の保全」を掲げることは意義がある。それを10年スパンでやっていくと浸透していくと思う。

恒川 情報発信をどうするかを考えたい。

河井 小泉農園も始めは小さなところからやっていた。情報発信の結果、現在は有名になって他の地域からも来ている。

恒川 農産物を基本に考えながら、宮前区の神社仏閣、河川などを組み込んでいってはどうかと思っている。それと情報発信が重要だと思う。

平井 情報発信と、いろんな人が話し合う場をつくるのが区民会議の役割だと思う。

恒川 「みどりのまち宮前」にしたい、そのために情報発信や地域コミュニティと連携していこうというまとめになると思う。

河井 地産地消も大事。

吉田 「花」も入れてほしい。

2 第1回部会の開催日程

※ 第1回部会は8月31日(火) 18:00から開催する。

(以上)